もえるごみ新聞

きっかけになった社会科見学

ぼくは6月23日に小学校の社会科見学で出雲エネルギーセンターと出雲クリーンプラザへ行きました。そして家庭や学校など色々な所で出たごみがどうなるのかを見学し学びました。捨てる事であつめられた燃えるごみは、出雲エネルギーセンターへ運ばれます。燃えきるには24時間動いていてごみを燃えない灰にする所で約1/20のかさになります。灰のなかにはまだ使える部分もあるので、再利用できるものとそうでないものにわけます。そこでは灰をつぶして細かくだき、貴ばんとして使える部分を選別します。再利用できないものは最終処分場へ運ばれます。ここでは灰をつぶして細かくだき、貴ばんとして使える部分を選別します。再利用できないものは最終処分場へ運ばれます。

ごみの量はどれくらいだろう

世界で1年間に出るごみの量は20億1000万トン

日本で1年間に出るごみの量は約4310万トン。これは東京ドームの約116杯分に当たります。

1人が1日に出す量は約1kg

出雲市では1日に約160トンのごみが出ます。

▶世界もぼくのごみの量はだんだん増えていますが、日本では、ごみを出さない取り組みが地域や会社、家庭内で行われてだんだんへってきています。

▶ぼくの家のごみ置き場

ごみがふえるとどうなるのか？

発行者 四級 小学校 四年生 山下真世

1. ごみの最終処分場が、これまでと同じペースでごみを出しつづけていると約20年後にはいっぱいになり、ごみを出せなくなると予測されています。
2. 最終処分場が足りなければ、又新しくつくればいいと思うかもしれませんしかし日本の国土はせまく人口も多いので、それをつくる場所をさがすのが大変です。広大な最終処分場のつくりかたは自然やそこに住む動物がいなくなってきます。
3. 海でポイすてされたごみや山や町などですてられたごみは最終的に海に流れ出ます。小さくなったプラスチックのごみをのみこんだ海の生物の生命をおびやかしたり、又美しい海のけしきもたくさんのごみのためめなくなります。
4. 海でごみを捨てたり、運んだり、そしてごみを処分するために、エネルギーを使うので地球温暖化の原因となる二酸化炭素がたくさんはい出されます。地球の気温が高くなるのでバ酷さが増えます。

生まれかわった焼えるごみ

出雲エネルギーセンター

毎日大量のごみが運ばれてきます

ここは1日100トンのごみを処理できる大型炉が2つあります。

850℃の高温でごみを完全に燃やします。

ごみを燃やし熱をたくさんつくり気に変え

タービン発電機

発電した電気は学校内の、市内の小学校で使用されています。

発電

デコ活なレジ

※デコ活とは、地球温だん化を進行させる温室ガスの排出をふせぐための取り組みで新しい豊かなくらしをつくる国民運動です。

1. わりばしも使だりペットボトルの飲料を買いません。かわりにマイはしやマイボトルを持ち歩くようにします。
2. 買い物袋をマイバッグを持ってきてレジぶくろをもらいません。必要なものだけを買えるようにします。
3. ノートやえんぴつ、けしごムなど最後までつかいきるようにします。
4. 給食を残しません。家庭食事も好ききらいなくなるようにします。

ぼくの

袋や学校、生活などいろいろなものを今のままでは、ごみがふえ地ばいきいになり、ごみを処分できなくなります。また、ごみは、元もと地球のいのちからできています。ごみをすてることは、いのちを捨てにしてることになります。限りあるこの地球のいのちを守るためにみんなで取り組んでいこう。

4Rで地球を守ろう

Reduce リデュース（減らす）

▶食品をムだな使う。

▶エコバッグを使って、買いものをして、必要なものだけを買うようにする。

▶ものがスぐやきる商品をえらぶ。

Reuse リユース（再使用）

▶こわれても直して使う。

▶使わなくなったら、必要としている人にわたすようにする。

▶フリマ・ガレット・リサイクルショップの活用。

Recycle リサイクル（再生利用）

▶ごみになるものと、新しく別のせい品になかれるしげんごみを分別して出す。

▶買う時は、再生品やエコマークの商品をえらぶ。

Refuse リフューズ（こばむ）

▶ごみになるものを受けとらない。買わない。（例）レジぶくろ、パックかじょうなほうそうし、不要なノベルティなど。

編集後記

ぼくは2年前にいなさの浜のせいそう活動に参加しました。なぎさの海ごみが目取できました。ぼくは、まだたくさん海ごみが残っていました。時間になっても、くやしい思いがしました。多くのごみをなくすとりくみで、美しい自然を守るための活動に協力してほしいです。

出雲市では、古紙やゆか著の リサイクルステーションが各地にあります。ヌイぐるみなどのスマートやたエリーマ、でも、古紙やぬいぐるみトレーなどしげんごみを回収できます。

給食に使用されている地元での野菜や魚類の新鮮な食品。食品ロスをへらすため、おいしい家庭の新鮮な食品も必要なことです。

他にも見つけたAR

フードバンク

（参考文献）
・ごみのゆくえ
・JRでごみが生まれ変わる
・ごみを減らそう
・ごみ処理のしくみ

ぼくら